

## 報告：原発問題をめぐる全体状況

@第71回脱原発八千代ネットワーク定例会

2018年6月23日 川井康郎

### 1. フクシマの状況

- (1) 5/30 更田規制委員長は東電に対して、トリチウム汚染水の海洋放出に向けて取り組むよう発言。要は、政府・当局にとって、オリンピック開催時にタンク群が目障り。



### 2. 原子力規制と再稼働の動き

- (1) 6/16 玄海4号機が再稼働（6年半ぶり）
- ・稼働中の原発：大飯③④、高浜③、玄海③④、川内①
  - ・定期検査中：高浜④、川内②
  - ・高裁差し止め決定により停止中：伊方③
- (2) 6/19 水戸市議会は東海第二の再稼働を認めない意見書を賛成多数で可決。日本原電と周辺6市村とは、再稼働にあたっては事前了解を必要とすることを合意済み。
- (3) 6/14 東電は福島第二（4基）の廃炉方針を表明。今更感あり。柏崎刈羽稼働、汚染水放出に向けた交渉カードという思惑が透けて見える。

### 3. その他のトピックス

- (1) 5/16 経産省は第5次エネルギー基本計画案を公表し、6/16までパブコメを募集。2030年の電源比率の数値目標（原発20-22%、自然エネ22-24%）は変えていない。世論ならびに実状からはかけ離れた計画といえる。
- (2) 6/10 新潟知事選にて保守系の花角英世候補が当選。柏崎刈羽の再稼働については、これまで通り県委員会の独自検証結果を待ち、4年後の知事選で是非を問う予定と。
- (3) 6/13 規制委員会は、東海再処理施設の廃止措置計画を認可。70年の期間、1兆円の国費投入を予定と。後始末にまた税金が使われる。
- (4) 7月の日米原子力協定自動延長に向けて、米政府が日本のプルトニウム保有量の削減を求めている。日本は、削減と保有量の上限を定めるキャップ制の導入を検討か？（現在47トン保有）6月下旬に、核燃サイクル方針も含めて、IAEAに報告予定？プルトニウム問題を放置してきたツケが回っている。
- (5) 日立は英国 Wylfa における原発新設計画（ABWR、1350MW×2）をめぐって英政府との間で融資、電力買取り条件等を交渉中。日立は容易には撤退できない状況に追い込まれている。
- (6) 頻発する地震～4/9 島根県西部（5+）、4/14 根室半島南東沖（5-）、5/25 長野県北部（5+）、6/17 群馬県南部（5-）、6/18 大阪府北部（6-）、千葉県沖スロースリップ

<以上>